



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL https://www.glico.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画本部 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月5日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	185,525	△0.2	10,774	△16.3	11,744	△20.1	8,783	△11.6
2019年3月期第2四半期	185,979	△0.9	12,874	△17.0	14,705	△11.8	9,938	△12.5

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 6,939百万円 (△41.6%) 2019年3月期第2四半期 11,885百万円 (△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	134.98	—
2019年3月期第2四半期	151.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	344,536	220,646	61.9
2019年3月期	348,452	220,853	61.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 213,304百万円 2019年3月期 213,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2019年12月期	—	30.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年4月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,000	—	16,200	—	17,600	—	12,000	—	182.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、2019年6月25日に開催の第114回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、2019年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、経過期間となる2019年12月期は、当社並びに3月決算の国内子会社につきましては、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間を連結対象期間としています。なお、12月決算の海外子会社は従来通り、2019年1月1日から2019年12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間としております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	68,468,569株	2019年 3 月期	69,414,469株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	3,572,853株	2019年 3 月期	3,602,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	65,068,233株	2019年 3 月期 2 Q	65,787,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響により依然として不透明な状態が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、消費者コミュニケーションを軸として、重点ブランドの強化や、健康事業、海外事業の成長加速へ経営資源を集中して取り組みました。

その結果、売上面では、菓子・食品部門、海外部門、健康事業を含むその他部門は前年同期を上回りましたが、冷菓部門、乳業部門、食品原料部門が前年同期を下回ったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は185,525百万円となり、前年同期(185,979百万円)に比べ0.2%の減収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、菓子・食品部門及び冷菓部門の売上原価率の上昇等によって全体では0.2ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、海外における積極的な投資に伴い販売促進費等が増加しました。

その結果、営業利益は10,774百万円となり、前年同期(12,874百万円)に比べ2,099百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階での減益及び為替差損等により、11,744百万円となり、前年同期(14,705百万円)に比べ2,961百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益等があるものの、経常利益段階での減益により、8,783百万円となり、前年同期(9,938百万円)に比べ、1,155百万円の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
菓子・食品	43,647	556	1.3	2,203	43	2.0
冷菓	55,350	△205	△0.4	5,615	△1,183	△17.4
乳業	45,634	△2,105	△4.4	1,813	△39	△2.1
食品原料	5,723	△114	△2.0	505	△41	△7.6
海外	25,275	1,039	4.3	△125	△1,514	—
その他	9,892	375	3.9	53	16	43.0
調整	—	—	—	708	620	—
合計	185,525	△454	△0.2	10,774	△2,099	△16.3

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<菓子・食品部門>

売上面では、主力の“ポッキー”“プリッツ”を始め、“GABA”“LIBERA(リベラ)”“神戸ローストショコラ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,647百万円となり、前年同期(43,091百万円)に比べ1.3%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇はありましたが、売上高の増加等により、営業利益は2,203百万円となり、前年同期(2,159百万円)に比べ、43百万円の増益となりました。

<冷蔵部門>

売上面では、“アイスの実”“パナップ”等が前年同期を上回りましたが、“パピコ”“牧場しぼり”等が前年同期を下回りました。一方、卸売販売子会社売上は前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は55,350百万円となり、前年同期(55,556百万円)に比べ0.4%の減収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は5,615百万円となり、前年同期(6,799百万円)に比べ1,183百万円の減益となりました。

<乳業部門>

売上面では、“プッチンプリン”“とろ〜りクリームon”“アイクレオ”等は前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”“BifiXヨーグルト”等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,634百万円となり、前年同期(47,740百万円)に比べ4.4%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は1,813百万円となり、前年同期(1,852百万円)に比べ、39百万円の減益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“E-スーパーク”「ファインケミカル」等は前年同期を上回りましたが、“A-グル”等が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,723百万円となり、前年同期(5,837百万円)に比べ2.0%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は505百万円となり、前年同期(547百万円)に比べ、41百万円の減益となりました。

<海外部門>

売上面では、ほぼ全ての海外子会社が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,275百万円となり、前年同期(24,236百万円)に比べ4.3%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等はありませんでしたが、積極的な販売促進策の実施や事業基盤強化に伴う販売費及び一般管理費の増加等により、営業損失は125百万円となり、前年同期(1,389百万円)に比べ、1,514百万円の減益となりました。

<その他部門>

売上面では、「オフィスグリコ」“アーモンド効果”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,892百万円となり、前年同期(9,516百万円)に比べ3.9%の増収となりました。

利益面では、「オフィスグリコ」における増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は53百万円となり、前年同期(37百万円)に比べ、16百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は344,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,915百万円減少しました。流動資産は175,609百万円となり、4,561百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金、有価証券が増加しましたが、現金及び預金、商品及び製品が減少したことによるものです。固定資産は168,926百万円となり、645百万円増加しました。主な要因は、投資その他の資産の投資有価証券の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は123,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,708百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払費用の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は220,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少しました。主な要因は、その他の包括利益累計額の減少が、株主資本の増加を上回ったことによるものです。この結果、自己資本比率は61.9%（前連結会計年度末比0.5ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高は主に海外部門で当初予想を下回る見込みです。利益につきましては、売上高の減少による減益はありますが、販売費及び一般管理費のより適切なコントロールにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも当初予想に変更はありません。

連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	292,000	16,200	17,600	12,000	182.34
今回修正予想 (B)	286,000	16,200	17,600	12,000	182.34
増減額 (B-A)	△6,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△2.1	—	—	—	—
(ご参考) 調整後前期実績	284,830	15,938	18,431	11,886	—

(注) 決算期変更の経過期間となる当期の連結業績予想につきましては、当社並びに3月決算の国内子会社は、4月から12月の9ヶ月間を、12月決算の海外子会社は1月から12月の12ヶ月間を、連結対象期間としております。また、ご参考実績として当期の業績を同様に当社並びに3月決算の国内子会社は4月から12月の9ヶ月間を、12月決算の海外子会社は1月から12月の12ヶ月間を、連結対象期間として連結決算した参考業績を調整後前期実績としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,601	96,409
受取手形及び売掛金	40,128	41,946
有価証券	1,645	3,624
商品及び製品	16,237	14,196
仕掛品	768	846
原材料及び貯蔵品	14,106	15,025
その他	3,733	3,611
貸倒引当金	△50	△51
流動資産合計	180,171	175,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,659	40,451
機械装置及び運搬具(純額)	35,019	36,744
工具、器具及び備品(純額)	3,165	3,519
土地	15,584	15,312
リース資産(純額)	615	570
建設仮勘定	12,421	3,194
有形固定資産合計	99,465	99,793
無形固定資産		
ソフトウェア	4,688	4,166
のれん	3,874	3,561
その他	914	1,627
無形固定資産合計	9,477	9,355
投資その他の資産		
投資有価証券	41,799	42,465
退職給付に係る資産	1,336	1,466
投資不動産(純額)	12,296	12,280
その他	3,959	3,619
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	59,338	59,778
固定資産合計	168,281	168,926
資産合計	348,452	344,536

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,831	32,762
短期借入金	417	188
未払費用	30,128	28,624
未払法人税等	2,651	3,779
販売促進引当金	2,448	2,632
役員賞与引当金	38	—
株式給付引当金	44	—
その他	12,188	10,815
流動負債合計	81,749	78,804
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,103	30,092
長期借入金	220	107
退職給付に係る負債	5,286	5,207
繰延税金負債	5,098	4,443
その他	5,140	5,235
固定負債合計	45,849	45,085
負債合計	127,598	123,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	8,999	7,459
利益剰余金	190,892	196,564
自己株式	△6,566	△9,044
株主資本合計	201,098	202,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,551	11,147
繰延ヘッジ損益	73	△17
為替換算調整勘定	395	△383
退職給付に係る調整累計額	△225	△196
その他の包括利益累計額合計	12,794	10,550
非支配株主持分	6,960	7,342
純資産合計	220,853	220,646
負債純資産合計	348,452	344,536

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	185,979	185,525
売上原価	97,535	97,644
売上総利益	88,444	87,880
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	16,062	16,491
販売促進費	26,270	26,373
販売促進引当金繰入額	2,011	2,632
広告宣伝費	7,383	7,373
退職給付費用	239	287
その他	23,602	23,947
販売費及び一般管理費合計	75,570	77,105
営業利益	12,874	10,774
営業外収益		
受取利息	251	248
受取配当金	420	376
為替差益	289	-
補助金収入	504	543
その他	1,076	859
営業外収益合計	2,542	2,027
営業外費用		
支払利息	33	13
為替差損	-	222
固定資産除却損	167	89
固定資産廃棄損	122	231
その他	387	500
営業外費用合計	711	1,057
経常利益	14,705	11,744
特別利益		
固定資産売却益	358	1,173
投資有価証券売却益	133	90
特別利益合計	491	1,263
特別損失		
減損損失	46	120
事業構造改善費用	19	75
特別退職金	0	18
退職給付制度終了損	153	-
特別損失合計	219	215
税金等調整前四半期純利益	14,977	12,793
法人税、住民税及び事業税	4,994	3,940
法人税等調整額	△365	△170
法人税等合計	4,629	3,770
四半期純利益	10,347	9,022
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,938	8,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	409	239

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,838	△1,404
繰延ヘッジ損益	163	△90
為替換算調整勘定	△1,240	△375
退職給付に係る調整額	△44	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△179	△241
その他の包括利益合計	1,538	△2,082
四半期包括利益	11,885	6,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,717	6,538
非支配株主に係る四半期包括利益	168	401

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 自己株式の取得

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式945,900株の取得を行いました。この取得により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加しております。

2. 自己株式の消却

当社は、2019年8月21日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月30日付で、自己株式945,900株を消却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,361百万円、資本剰余金が1,556百万円、利益剰余金が805百万円、それぞれ減少しております。

(会計方針の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、海外展開の加速に伴い、在外子会社における海外売上高等の重要性が今後更に増加する見込みであることから、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 及び包括利益計算書 計上額(注)3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,091	55,556	47,740	5,837	24,236	176,463	9,516	185,979	—	185,979
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	357	62	74	105	1	601	1,914	2,515	△2,515	—
計	43,449	55,618	47,815	5,943	24,237	177,064	11,431	188,495	△2,515	185,979
セグメント利益	2,159	6,799	1,852	547	1,389	12,748	37	12,786	88	12,874

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額88百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額385百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△296百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 及び包括利益計算書 計上額(注)3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,647	55,350	45,634	5,723	25,275	175,632	9,892	185,525	—	185,525
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	325	67	5	107	—	506	2,720	3,227	△3,227	—
計	43,973	55,418	45,640	5,831	25,275	176,139	12,613	188,753	△3,227	185,525
セグメント利益又は 損失(△)	2,203	5,615	1,813	505	△125	10,012	53	10,065	708	10,774

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額708百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,025百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

決算短信補足説明資料

-19年12月期 第2四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co.,Ltd.

1.連結経営成績

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	19/3期2Q 実績	19/12期2Q 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	185,979	185,525	▲ 454	-0.2
営業利益	12,874	10,774	▲ 2,099	-16.3
経常利益	14,705	11,744	▲ 2,961	-20.1
当期純利益	9,938	8,783	▲ 1,155	-11.6

(2)地域ごとの売上高

単位：百万円

	19/3期2Q 実績	19/12期2Q 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
日本	161,743	160,249	▲ 1,493	-0.9
中国	13,556	13,064	▲ 491	-3.6
東南アジア	6,813	7,672	859	12.6
その他	3,866	4,538	672	17.4
合計	185,979	185,525	▲ 454	-0.2

※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3)営業利益の状況

単位：百万円

	19/3期2Q		19/12期2Q	
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)
売上高	185,979	100.0	185,525	100.0
売上原価	97,535	52.4	97,644	52.6
売上総利益	88,444	47.6	87,880	47.4
運賃保管料	16,062	8.6	16,491	8.9
販売促進費	28,281	15.2	29,006	15.6
広告費	7,383	4.0	7,373	4.0
人件費・厚生費	14,222	7.6	14,287	7.7
経費・償却費	9,619	5.3	9,946	5.4
販売費及び一般管理費	75,570	40.7	77,105	41.6
営業利益	12,874	6.9	10,774	5.8

営業利益の増減要因	対19/3期 2Q	
	内 国内	
①売上高増減による増減益	▲ 138	▲ 441
②販売品種構成の変化等による増減益	102	17
③原材料価格変動による増減益	▲ 419	▲ 402
④運賃保管料比率変動による増減益	▲ 468	▲ 308
⑤販売促進費比率・広告費増減による増減益	▲ 784	191
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 392	357
合計	▲ 2,099	▲ 586

(4)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

	19/3期2Q 実績	19/12期2Q 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	43,091	43,647	556	1.3
うち 菓子	33,546	34,536	989	3.0
うち 食品	9,545	9,111	▲ 433	-4.5
冷菓	55,556	55,350	▲ 205	-0.4
乳業	47,740	45,634	▲ 2,105	-4.4
食品原料	5,837	5,723	▲ 114	-2.0
海外	24,236	25,275	1,039	4.3
その他	9,516	9,892	375	3.9
合計	185,979	185,525	▲ 454	-0.2

(5)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	19/3期2Q 実績	19/12期2Q 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	2,159	2,203	43	2.0
うち 菓子	1,871	2,229	358	19.2
うち 食品	288	▲ 26	▲ 314	-
冷菓	6,799	5,615	▲ 1,183	-17.4
乳業	1,852	1,813	▲ 39	-2.1
食品原料	547	505	▲ 41	-7.6
海外	1,389	▲ 125	▲ 1,514	-
その他	37	53	16	43.0
調整	88	708	620	-
合計	12,874	10,774	▲ 2,099	-16.3

<参考> 換算レートについては以下レートを使用

19/3期2Q 実績	19/12期2Q 実績
1CNY= 16.66円	1CNY= 16.22円
1THB= 3.33円	1THB= 3.47円
1USD=110.54円	1USD=110.12円

2.連結財政状態

単位：百万円

	19/3末	19/9末	増減		19/3末	19/9末	増減
流動資産合計	180,171	175,609	▲ 4,561	流動負債合計	81,749	78,804	▲ 2,944
現金及び預金	103,601	96,409	▲ 7,191	支払手形及び買掛金	33,831	32,762	▲ 1,068
受取手形及び売掛金	40,128	41,946	1,817	短期借入金等	417	188	▲ 228
棚卸資産	31,112	30,069	▲ 1,043	その他	47,500	45,852	▲ 1,647
その他	5,328	7,184	1,855	固定負債合計	45,849	45,085	▲ 763
固定資産合計	168,281	168,926	645	転換社債型新株予約権付社債	30,103	30,092	▲ 10
有形固定資産	99,465	99,793	327	長期借入金	220	107	▲ 113
無形固定資産	9,477	9,355	▲ 122	退職給付に係る負債	5,286	5,207	▲ 78
投資有価証券	41,799	42,465	665	その他	10,238	9,678	▲ 560
投資不動産	12,296	12,280	▲ 16	負債合計	127,598	123,890	▲ 3,708
その他	5,241	5,033	▲ 208	純資産合計	220,853	220,646	▲ 207
				株主資本	201,098	202,753	1,655
				その他の包括利益累計額	12,794	10,550	▲ 2,244
				非支配株主持分	6,960	7,342	382
資産合計	348,452	344,536	▲ 3,915	負債純資産合計	348,452	344,536	▲ 3,915